

授業科目 高齢期障害作業療法学演習

【担当教員名】 能村 友紀		対象学年	3	対象学科	作業
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○	◎	
【概要・一般目標：GI0】 高齢者に対する作業療法の対象者特性を理解し、作業療法介入に必要な基礎知識・技術を習得する					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 高齢者に対する作業療法の役割とプロセスを説明できる 2. 高齢期の作業療法の援助技術について説明できる。 3. 個別・集団における作業療法プログラムが立案、実施することができる					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	高齢期作業療法プロセス			1	講義（能村）
2	高齢期作業療法援助法 生活障害（1）			2	演習（能村）
3	"（2）			2	演習（能村）
4	"（3）			2	演習（能村）
5	高齢期作業療法援助法 認知症者（1）			2	演習（能村）
6	"（2）			2	演習（能村）
7	"（3）			2	演習（能村）
8	高齢期作業療法援助法 虚弱高齢者（1）			2	演習（能村）
9	"（2）			2	演習（能村）
10	"（3）			2	演習（能村）
11	高齢期作業療法技法（1）			3	演習（能村）
12	"（2）			3	演習（能村）
13	"（3）			2	演習（能村）
14	"（4）			3	演習（能村）
15	まとめ			1～3	講義（能村）
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		高齢期作業療法学	小川恵子編	医学書院	2004・3,600円
参考書		老年期の作業療法	浅海奈津美、守口恭子	三輪書店	2003・3,300円
その他の資料		痴呆性老人のための作業療法の手引き	植田孝一郎 他	ワールドプランニング	2004・2,524円
【評価方法】 出席点 レポート 発表 期末試験		【履修上の留意点】 高齢期作業療法の援助法に関する文献的考察や実技を中心に行います。			